

○一般社団法人 日本森林学会 2015 年度第 3 回（通算第 454 回）理事会 議事録

日時：2015（平成 27）年 9 月 18 日（金）14:00～18:00

場所：東京大学農学部 3 号館 4 階 教員会議室

開催者：大河内勇

出席者：会長：大河内勇，副会長：黒田慶子，理事：正木隆，井上公基，石田清，福田健二，太田祐子，阿部恭久，佐藤宣子，竹中千里，船田良，松本光朗，伊藤哲，小島克己，監事：井出雄二，高橋正通，主事：細田和男，南光一樹，小松雅史，久本洋子，加賀谷悦子，篠原慶規，花岡創，吉田智弘，事務局：稲村崇子，オブザーバー：佐藤肇（林野庁）

議長：大河内勇

審議事項：

本理事会で議論・決定された事項は以下の通りである。

1. 日林誌のスキープの改訂について

日林誌編集委員会および第 452 回理事会での議論をもとに，石田理事から日林誌のスキープ改訂が提案され，承認された。

2. 次期 JFR 出版契約の入札について

シュプリンガー・ジャパンとの契約満了に伴い，福田理事より，次期契約の入札公告を行うことや仕様書の内容が提案され，承認された。

3. 森林科学の電子バックナンバー配布機関の変更について

現在利用している国立情報学研究所の CiNii がサービスを休止することから，太田理事より，科学技術振興機構の J-STAGE へ移行することが提案され，利用申込をすることが承認された。移行にあたっては高解像度の PDF を作成することが望ましいが，その方法や経費についてはさらに検討していくことになった。

4. 森林科学広告料の外税表示への変更について

森林科学編集委員会の料金改定（外税表示への変更）案が太田理事より提案され，承認された。

5. 学生ポスター賞選考における選考委員と審査委員の負担軽減策について

選考委員や審査委員からの意見を踏まえて，佐藤理事からの提案があり，大会当日に選考委員が一堂に会しての選考委員会はとりやめることが承認された。コアタイムでの発表技術の審査方法など，その他の負担軽減策については第 127 回大会に向けて引き続き検討していくことになった。

6. ウッドデザインサポート連絡会への登録について

正木理事より提案され，登録することが承認された。社会連携委員会において適任者を検討して，学会としての担当者を選任することになった。

7. 防災学術連携体への入会について

入会の依頼があったことが大河内会長より説明され，入会することが承認された。社会連携委員会において適任者を検討して，学会としての担当者を選任することになった。

8. 理事会議事録の承認

2015 年度第 2 回（通算 453 回）理事会（2015 年 5 月 28 日）の議事録および 2015 年度第 4 回メ

ール理事会（2015年7月15日提案，7月24日決議）議事録が承認された。

9. 次回理事会の開催について

次回理事会を連携学会長合同会議として12月に開催すること承認された。

報告事項：

その他，下記の報告が行われた。

1. 第127回大会の準備状況

井上理事（第127回大会運営委員長）より，大会収支見込みの修正版が示されたほか，公開シンポジウム，高校生ポスター発表の見通しや，前回理事会で提案のあった学生向け就職相談ブースの設置を検討していることなどが報告された。また小島理事（プログラム編成委員長）から，公募セッションや企画シンポジウムの応募状況に加え，「和文論文の書き方」など学生や院生向けの本部企画が検討されていることが報告された。

2. 第128回大会の準備状況

正木理事より，鹿児島大学において大会運営委員会の組織を進めているところであることが報告された。

3. 国際担当からの報告

大会のお知らせの英語版をウェブページに掲載したことや，韓国森林学会との交流は，特別な招聘予算ではなく通常の学会活動の一環として，2017年の大会において統一テーマのセッションを設定する方向で検討していることが報告された。

4. 林業遺産担当からの報告

伊藤理事より，2015～2016年度の林業遺産地区選定委員として八巻一成，比屋根哲，山本伸幸，奥敬一，大住克博，藤掛一郎の各氏を選任したことが報告された。また2014年度に新たに選定した林業遺産については定時総会当日のプレスリリース，「森林技術」「グリーンパワー」への掲載で広報を行ったほか，「森林科学」のシリーズ林業遺産紀行で紹介を続けていることが報告された。

5. 学協会，社会連携担当からの報告

黒田副会長より，日本学術振興会特別研究員への森林科学分野からの応募が少ないこと，第127回大会において応募促進のための院生・PD向け本部企画を検討していることが報告された。これに関して大河内会長から，理事会での喚起だけでなく指導教員である会員に広く応募促進を呼びかけることが必要であるとの発言があった。

6. ウェブサイト編集担当からの報告

南光主事から，ウェブサイトの更新状況，特に大会のお知らせを閲覧者の立場に立って大幅に改良したこと，学会メールマガジンを経由したアクセスは25%程度であることなどが報告された。これに対して海外からのアクセス状況の分析も必要との意見があり，次回以降の理事会で報告されることになった。

7. 会計担当からの報告

小松主事より，第126回大会会計と2015年度半期決算が報告され，大会会計の収支差は指定正味財産（大会準備引当資産）に振り替えられたことが報告された。大会会計に関係して井出監事よ

り、大会に対する外部からの補助金の収支は理事会にも報告されるべきだという指摘があった。また、法人化にともなう消費税免税期間の終了や今後の税率変更などに対応するため、課税・非課税の区分け、内税・外税表示の明示など学会の規則や内規、価格表などを整理する必要があり、会計担当でさらに検討していく方針が示された。これに対して、規則の整理だけでなく、消費税の課税や税率変更が学会の財政全体に及ぼす影響についても注視していく必要があるとの意見が出された。

8. 日林誌編集担当からの報告

石田理事より、日林誌の編集状況や J-Stage への海外からのアクセス数などが報告された。今期の編集体制になってからリジェクトが微増していること、投稿原稿の質がやや低下しているとの感想が示された。また、WEB of Science への日林誌の掲載を、編集委員長名でトムソン・ロイター社に依頼することが報告された。さらに編集委員会における原稿種別改訂案の検討状況が報告された。これに対し、短報の位置づけについての議論があったほか、会員への周知記事を掲載するため、発行日と実際の配布時期がずれないように欲しいとの要望があった。

9. JFR 編集担当からの報告

福田理事より、JFR の編集状況、高橋誠編集委員の後任として谷口亨編集委員が就任したこと、JFR 論文賞への応募状況、不正投稿の疑義申立てとその審議・処分内容、剽窃検知ソフトの導入などが報告された。2015 年度のインパクトファクターは 0.775 で前年度よりも低下し、この一因として特集号がないことや掲載論文数が少ないことが指摘された。科研費（国際情報発信強化）への応募については、日本学術振興会での個別相談会の内容を踏まえ、他学会の採択例なども参考にしながら、総務担当、国際担当も交え、今年度も応募する方向で検討していくことになった。

10. 森林科学編集担当からの報告

太田理事より、森林科学の編集状況について報告があった。

11. 企画・広報担当からの報告

阿部理事より、学会メールマガジンの発行状況やアドレスリストの更新について報告があった。

12. 表彰担当からの報告

佐藤理事より、日本学術振興会育志賞および日本農学進歩賞に、それぞれ 1 名の学会推薦候補者を選考して推薦したこと、科学技術賞と若手科学者賞については応募者がなかったことが報告された。また、日本森林学会各賞および日本農学賞の応募状況、第 126 回大会学生ポスター賞の授賞結果について報告があった。

13. 男女共同参画担当からの報告

竹中理事より、内閣府「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」への応募が採択されたこと、「女子中高生夏の学校」へ当学会 100 周年記念絵葉書を提供したことが報告された。また、男女共同参画学協会連絡会シンポジウム「国際的な視点からみた男女共同参画の推進」でのポスター発表や、近畿中国森林管理局「女性フロンランナー×森林・林業・木材産業 活躍する女性のシンポジウム」での黒田副会長の講演が予定されてい

ることが紹介された。

14. JABEE担当からの報告

戸田理事より、5月28日に森林・林業技術者の人材育成に関するシンポジウムを日本森林学会・森林・自然環境技術者教育会の共同主催、林業経済学会・森林計画学会の共催、林野庁の協力によって開催したことが報告された。50余名の参加があり、予定していた2時間のプログラムでは収まらず、シンポジウム後に1時間延長して意見交換をするなど活発な議論が行われた。また平成27年度JABEE 農学系分野審査講習会が6月27日に開催されたことが報告された。

15. プログラム編成委員会からの報告

小島理事（プログラム編成委員長）から、第127回大会プログラムの編成に向けて部門委員会委員を選任したことが報告された。プログラム編成の進捗状況は、報告事項1のとおりである。

16. 総務担当からの報告

正木理事より、会員数の動向、また科研（研究成果公開促進費）への応募に向けて関東森林学会へ発案を依頼したことが報告された。

17. 選挙管理委員会からの報告

正木選挙管理委員長より、代議員選挙および代議員選出理事・監事の互選投票を、電子投票システムを利用して実施することが報告された。

議事録作成者：正木隆，細田和男